

2019年3月期（第28期） 第3四半期決算 補足資料

2019年2月13日

株式会社エヌジェイホールディングス
(JASDAQスタンダード：9421)



- 当資料に記載されている当社及び当社子会社の現在の戦略・計画・認識等のうち、将来の業績等に関する見通しは、リスクや不確実な要因を含んでおり、実際の業績は、様々な要因により、見通しとは大きく異なることがあります。実際の業績に影響を与えうる主要な要因には、当社及び当社子会社の事業領域を取り巻く経済情勢、社会的動向、当社及び当社子会社の提供する製品・サービスに対する需要動向や競争激化による価格下落や顧客の求めに応じることのできる技術力等があります。なお、業績に影響を与えうる要因はこれらに限定されるものではありません。
- 当資料の作成に際し、正確性を確保するため、注意を払っておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料は、今後予告なしに変更されることがあります。
- 当資料に記載されている会社名及び製品・サービス名等は、該当する各社の商標または登録商標です。

I. 会社概要

II. 2019年3月期第3四半期決算ハイライト

1. 連結業績
2. セグメント別業績

III. 2019年3月期通期見通し

1. 通期業績見通し
2. セグメント別業績見通し

I .会社概要

1.会社概要

(1) 会社情報及び沿革

■ 会社概要

設立	: 1991年12月
本社	: 東京都港区芝三丁目8番2号 住友不動産芝公園ファーストビル7階
資本金	: 592,845千円 (2018年3月末現在)
従業員数	: 連結 701名 (2018年12月末時点。うち平均臨時従業員139名)

※参考 連結777名 (2018年12月末時点臨時従業員数215名 (平均でない))

■ 沿革

・91年 12月	(株)新都市科学研究所として設立
・95年 11月	ディーディーアイ関西ポケット電話(株)と一次代理店契約を締結し移動体通信事業を開始
・96年 4月	エヌ・ティ・ティ関西移動体通信網(株) (現 (株)エヌ・ティ・ティ・ドコモ) と一次代理店契約を締結
・96年 4月	移動体通信事業会社である(株)インターベルを設立
・96年 8月	(株)インターベルが関西セルラー電話(株) (現 KDDI (株)) と一次代理店契約を締結
・97年 3月	(株)新都市科学研究所から(株)ネプロジャパンに商号変更
・99年 6月	(株)インターベルが(株)東京デジタルホン(現 ソフトバンクモバイル(株)) と一次代理店契約を締結
・00年 7月	(株)インターベルが郊外型携帯電話販売店(現 ビボパーク)の営業展開を開始
・04年 4月	(株)インターベルを当社に吸収合併
・06年 4月	ジャスダック証券取引所に上場
・07年 3月	(株)ネプロサービス ((株)シーズプロモーション) を設立し、人材コンサルティング事業に進出
・10年 3月	(株)キャリアフリーを新設分割し、当社移動体通信事業併売店部門を事業承継
・10年 4月	(株)キャリアフリーが(株)光通信と資本業務提携し、併売店21店舗を譲受け
・11年 9月	(株)モバイル&ゲームスタジオ (現(株)ゲームスタジオ) の発行済株式を全て取得し、連結子会社化
・14年 4月	持株会社体制へ移行。(株)ネプロモバイル関東、同東海、同関西及び(株)ネプロクリエイトを新設分割により設立。
・14年 12月	(株)ネプロモバイル関東、同東海、同関西を(株)ラネットへ譲渡
・15年 3月	(株)トライエースの発行済株式68.9%を取得し、連結子会社化
・15年 9月	(株)トーテックの発行済株式67.0%を取得し、連結子会社化
・15年 12月	東京都港区に本社を移転、(株)ネプロジャパンから(株)エヌジェイホールディングスに商号変更
・16年 1月	(株)シェードの発行済株式51.3%を取得し、連結子会社化
・16年 6月	(株)シーズプロモーション及び(株)トーテックが、(株)トーテックを存続会社として合併
・17年 4月	(株)キャリアフリー及び(株)ネプロクリエイトが、(株)ネプロクリエイトを存続会社として合併
・17年 6月	(株)ブームの事業再生支援に伴い、新たに設立した新生(株)ブームにて同社事業を譲受け
・17年 9月	(株)シェードの全保有株式を譲渡
・17年 12月	ゲーム運営/カスタマーサポートを行う(株)ウィットワンを設立
・18年 7月	(株)トーテックの株式の一部をDELTA Holdings株式会社へ譲渡
・18年 10月	(株)ISAOのゲーム運営サポート事業を吸収分割により(株)ウィットワンにて承継

1.会社概要

(2) 事業内容及びグループ概要

NJ holdings 株式会社エヌジェイホールディングス（持株会社）

ゲーム事業

主にゲームの開発受託・運営受託



株式会社ゲームスタジオ



株式会社トライエース



株式会社ブーム



株式会社エヌジェイワン



株式会社ウィットワン

モバイル事業

auショップ運営・販売店ピポパーク運営



株式会社ネプロクリエイト

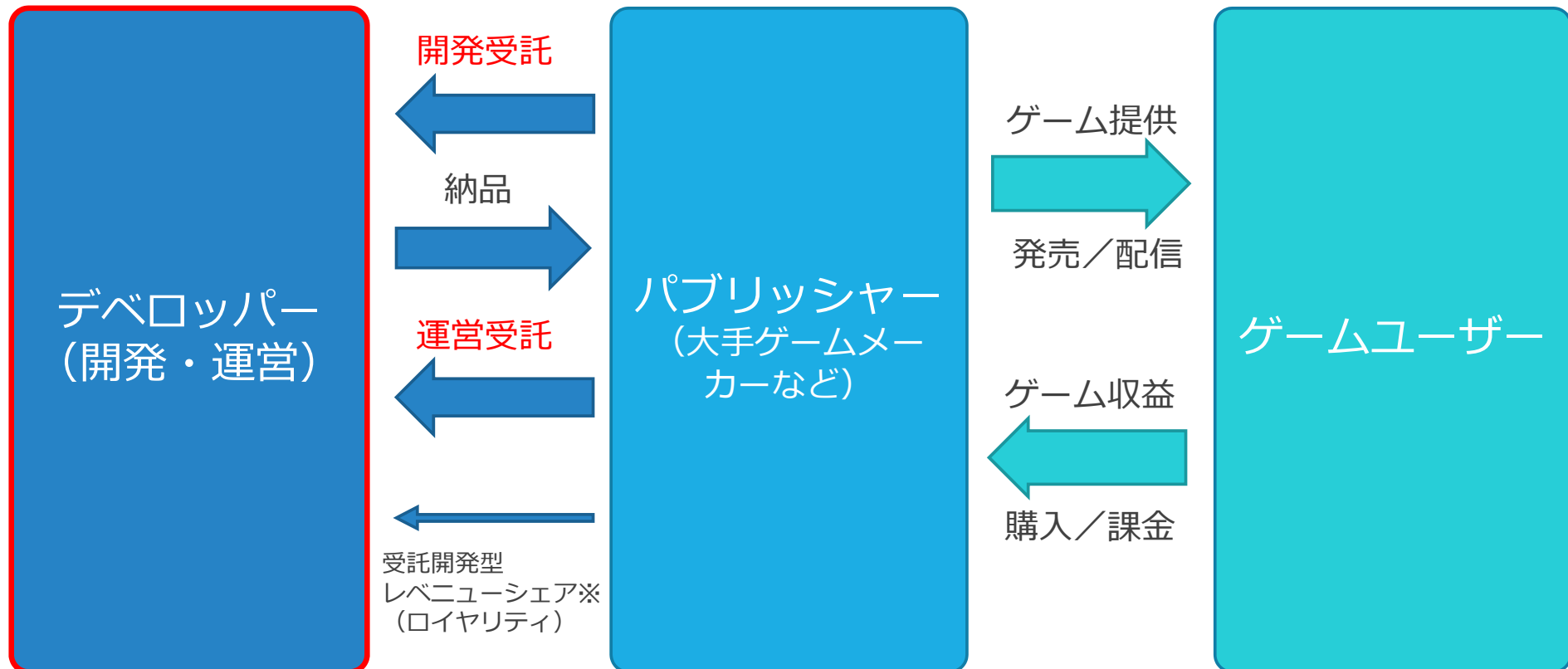
※ 当第2四半期より、人材ソリューション事業はその他セグメントとしております。

1.会社概要

(3-1) ゲーム事業（概要）

- 当社のゲーム事業は開発受託および運営受託を主としております。

当社ゲーム事業



※ 受託開発をベースとしながら、その開発費の一部を負担することで、ゲーム収益の一部を受領し、負担した開発費の回収を図るとともに、ヒットに応じた収益受領を目指しております。なお、本資料中では単にレベニューシェアと表現することがあります。

1.会社概要

(3-2) ゲーム事業（各社の事業領域）

- スマホゲームの開発・運営フェーズとゲーム各社の主なカバー範囲



Ⅱ.2019年3月期第3四半期決算ハイライト

1.連結業績

(1-1) 通期業績サマリー

(単位：百万円)

	2018年3月期 3Q累計	2019年3月期 3Q累計	前期差異	実績数値の主な要因
売上高	8,374	8,126	△248	・ゲーム運営サポート事業継承による増加 ・トーテック持分法適用による減少
売上総利益	2,295	2,165	△129	
販売費及び 一般管理費	1,772	1,921	+148	・ゲーム事業における増床及び人員増強等、 ゲーム運営サポート事業継承による増加
営業利益	522	244	△278	
経常利益	524	216	△308	
親会社株主に帰属 する当期純利益	413	212	△201	・上期にトーテック株式売却益115百万円及びブームのれん減損38百万円を計上
EBITDA※	670	458	△212	・3Q累計のれん償却額 86百万円

※EBITDA：営業利益に減価償却費及びのれん償却額を足し戻して算定

1.連結業績

(1-2) 通期業績サマリー（四半期毎）

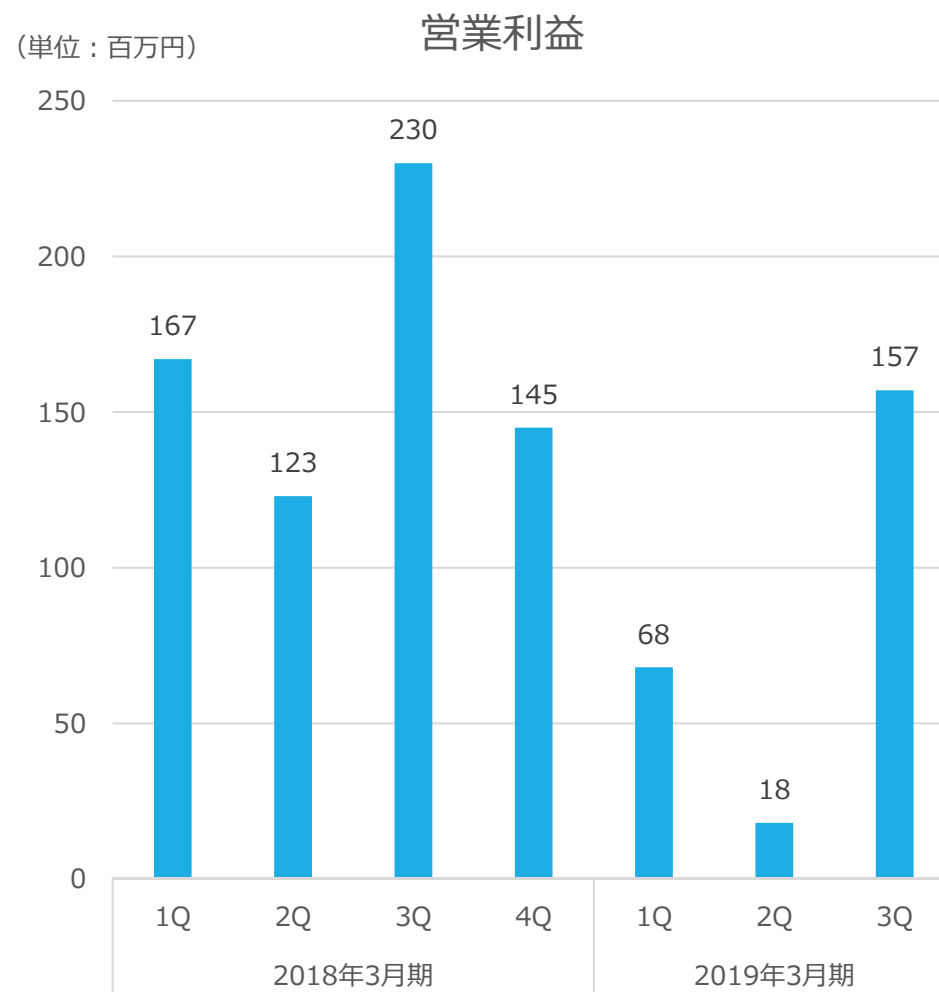
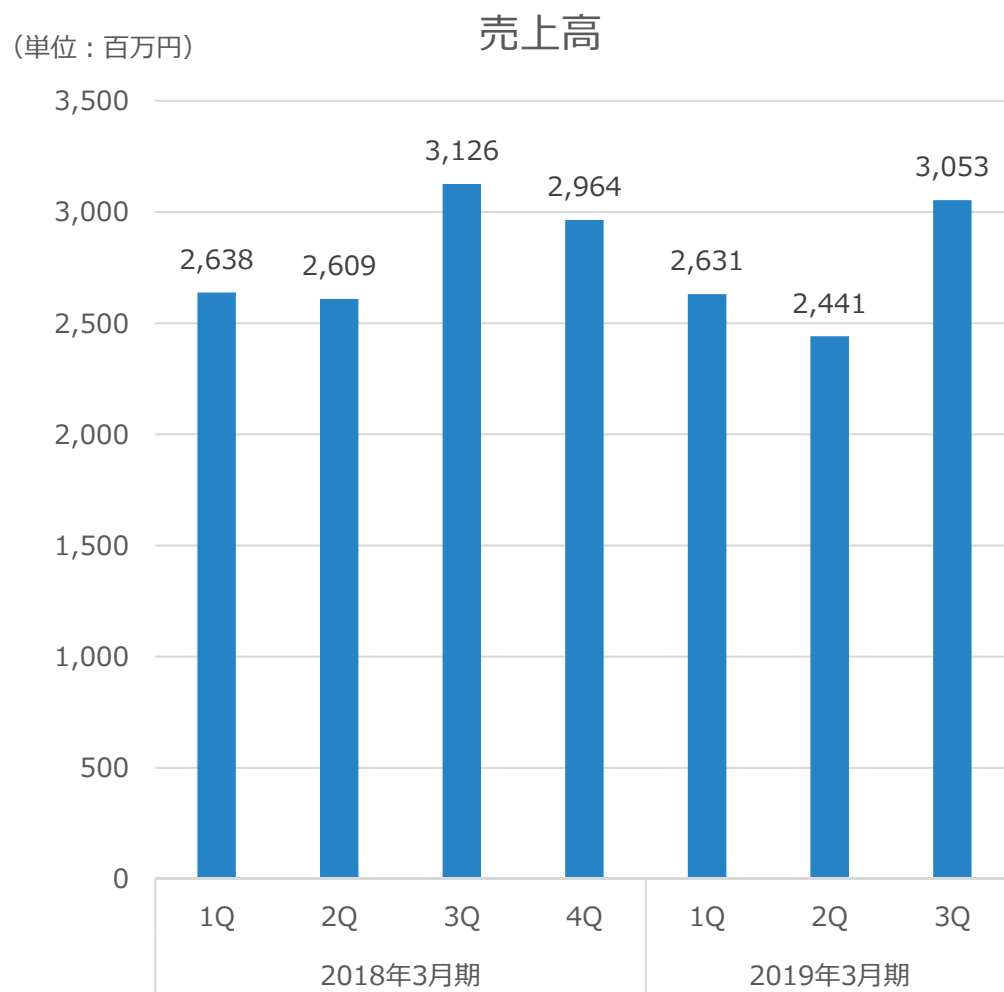
(単位：百万円)

	2018年3月期				2019年3月期		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
売上高	2,638	2,609	3,126	2,953	2,631	2,441	3,053
売上総利益	716	713	864	760	678	628	858
販売費及び一般管理費	548	589	633	618	610	609	701
営業利益	167	123	230	142	68	18	157
経常利益	160	131	232	143	58	6	151
親会社株主に帰属する当期純利益	109	144	160	105	37	75	99
EBITDA※	211	177	281	189	115	57	285

※EBITDA：営業利益に減価償却費及びのれん償却額を足し戻して算定

1.連結業績

(1-3) 通期業績サマリー（四半期毎グラフ）



1.連結業績

(2-1) セグメント別業績

(単位：百万円)

	売上高			セグメント利益（営業利益）		
	2018年3月期 3Q累計	2019年3月期 3Q累計	前期差異	2018年3月期 3Q累計	2019年3月期 3Q累計	前期差異
ゲーム事業	4,583	4,895	+311	690	434	△256
モバイル事業	2,894	2,882	△11	60	56	△3
その他	955	367	△588	3	△2	△6
セグメント間取引消 去及び全社費用	△58	△19	+39	△155	△158	△2
のれん償却額	—	—	—	△75	△86	△10
連結合計	8,374	8,126	△248	522	244	△278

(注) その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。当期第2四半期より人材ソリューション事業はその他に含めております。
全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

1.連結業績

(2-2) セグメント別業績（四半期毎）

(単位：百万円)

	売上高							セグメント利益（営業利益）						
	2018.3期				2019.3期			2018.3期				2019.3期		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
ゲーム事業	1,500	1,424	1,659	1,505	1,470	1,443	1,981	230	202	257	156	144	72	217
モバイル事業	846	889	1,158	1,142	861	975	1,046	8	3	48	56	△1	27	30
その他	313	315	325	328	313	25	28	0	△1	4	10	3	△2	△3
セグメント間取引消去及び全社費用	△21	△20	△16	△22	△13	△2	△2	△49	△52	△54	△55	△53	△57	△47
のれん償却額	—	—	—	—	—	—	—	△22	△27	△25	△24	△25	△27	△39
連結合計	2,638	2,609	3,126	2,953	2,631	2,441	3,053	167	123	230	142	68	18	157

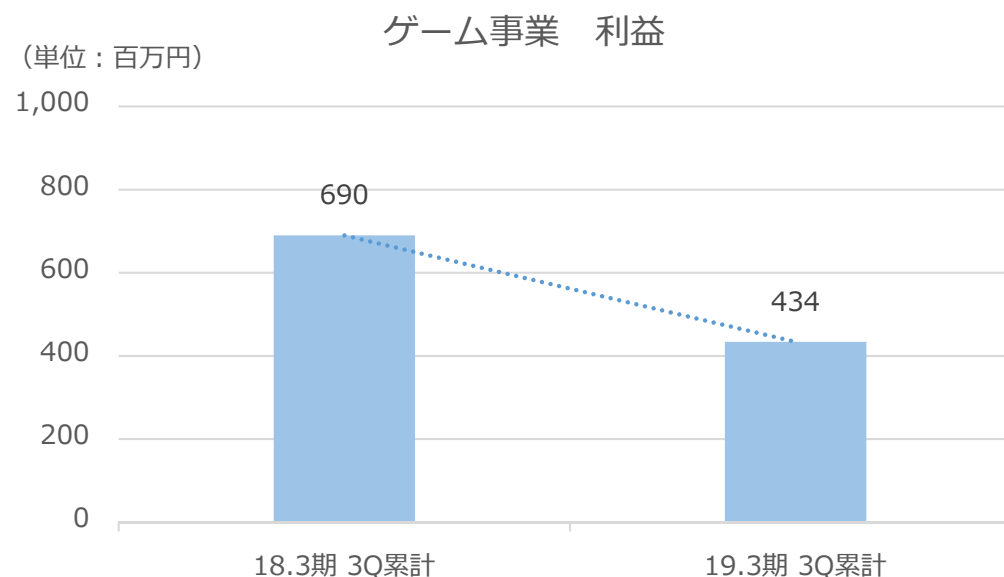
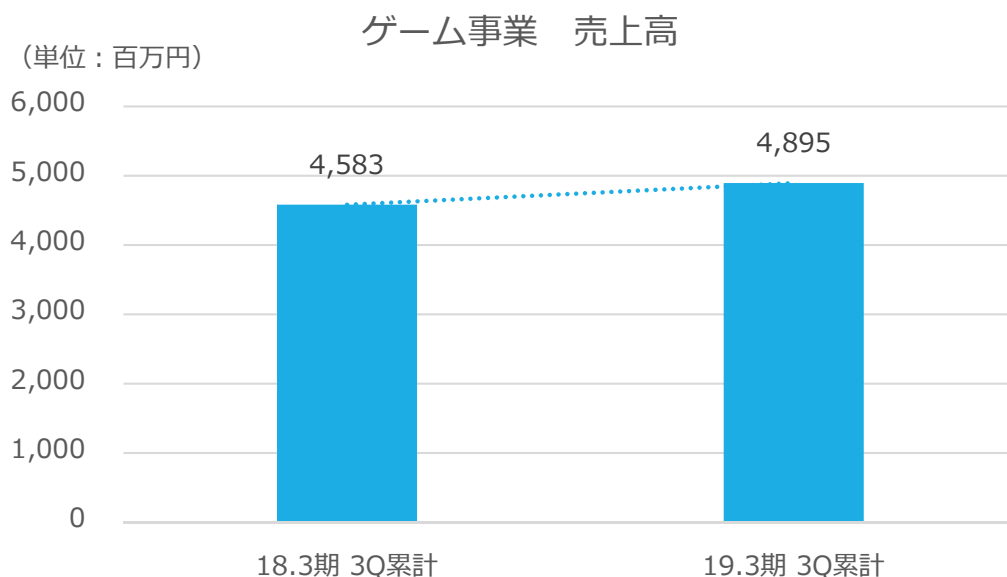
(注) その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。当期第2四半期より人材ソリューション事業はその他に含めております。
全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2.セグメント別業績

(1-1) ゲーム事業（概要）

ゲーム事業

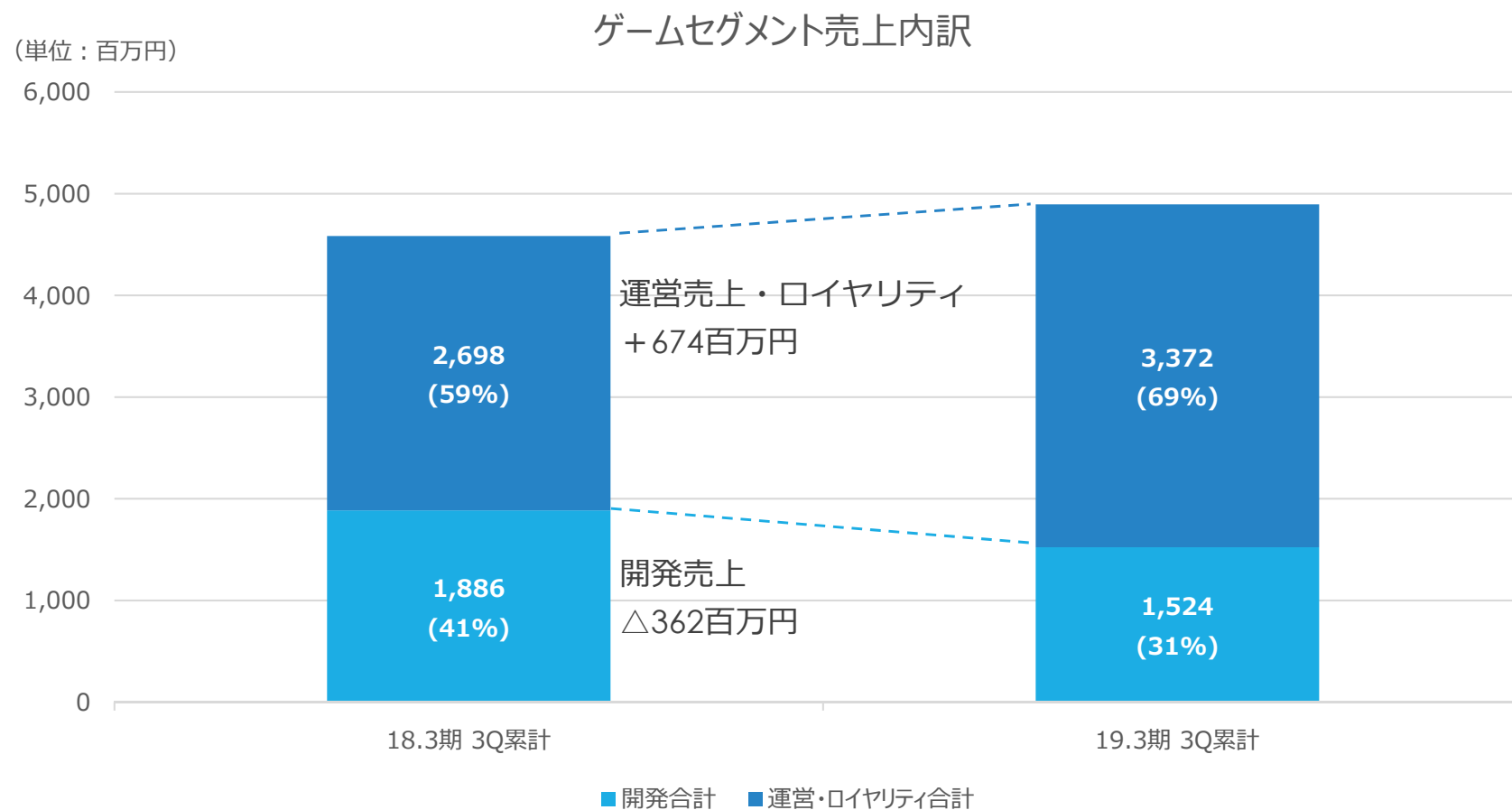
- 売上高は、上期において、開始時期が下期にずれ込んだ新規開発案件があったものの、運営受託収益は拡大し、また、ISAO社よりゲーム運営サポート事業を承継したことにより増収
- 営業利益は、開発原価を要することや増床による一時的な原価増加もあり、上期の減益分はカバーしきれないものの、上記事業承継による利益拡大があり、新規開発案件等も計画どおり進捗中。
- 前年同期比は、前年は、計画上見込んでいなかった追加的な受注が年間を通して一定程度あったことや、レベニューシェア収益等も想定以上に好調であったことから、減益。
 - ・ 3Q(10-12月)営業利益：18.3期3Q 257百万円、19.3期3Q 217百万円



2.セグメント別業績

(1-2) ゲーム事業（セグメント売上内訳 前年同期比）

■ ゲームセグメント売上内訳（前年同期比）



※運営売上には、納品・リリース後の継続的なバージョンアップなどの開発を伴う売上が含まれております。

※運営売上とロイヤリティの内訳は開示しておりません。

※開発売上は、納品・リリース時までの売上を対象をしております。また、ゲームその他の売上を含んでおります。

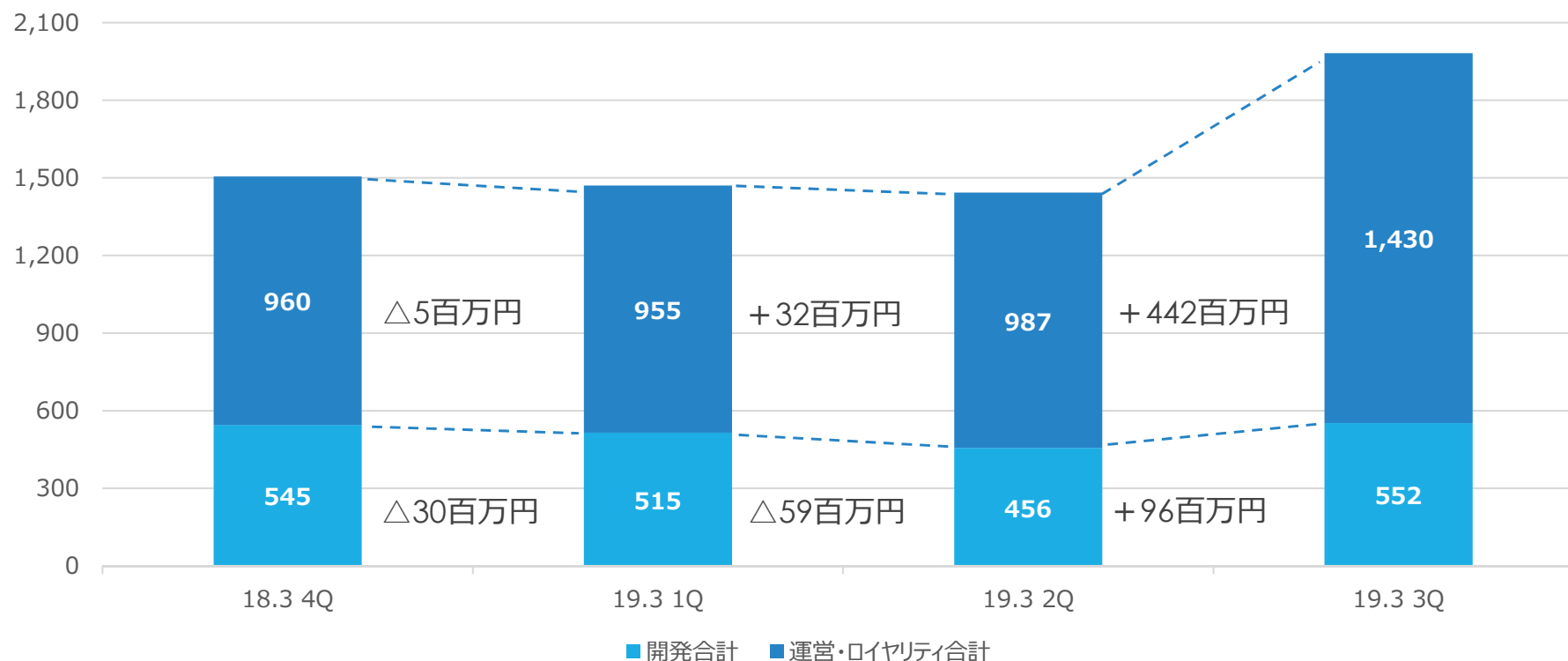
2.セグメント別業績

(1-3) ゲーム事業（セグメント売上内訳 四半期毎推移）

■ ゲームセグメント売上内訳（四半期毎推移）

（単位：百万円）

ゲームセグメント売上内訳



※運営売上には、納品・リリース後の継続的なバージョンアップなどの開発を伴う売上が含まれております。

※運営売上とロイヤリティの内訳は開示しておりません。

※開発売上は、納品・リリース時までの売上を対象をしております。また、ゲームその他の売上を含んでおります。

2.セグメント別業績

(1-4) ゲーム事業（現在の案件状況等）

現在の案件状況等

- 現在開発中の案件数※1 大型2件※2、中型3件※2（2018年11月13日比 大型-1件、中型±0件）
- レベニューシェアタイトル数 半期ごとの開示としております※3
- ゲーム人員数（正社員のみ）※4 470名（2018年9月末比 64名増）

※1 2月13日決算発表日時点における開発中のタイトル数であり、本年度内に納品するタイトル数を示すものではありません。

※2 同規模分類でも開発期間等により受注金額は変わってきますため、開発体制の人数を目安に分類しております。大型は、30名以上、中型は15名前後を目安にしております。

※3 タイトル名は非開示であり、タイトル数が少数である当面は、類推を避けるため半期ごとの開示とさせていただきます。

※4 2018年12月末時点の正社員の人員数。

2.セグメント別業績

(1-5) ゲーム事業（最近の主なトピック）

■ 2018年3月

- ・『刀使ノ巫女 刻みし一閃の燈火』
リリース（ゲームスタジオ）[スマートフォン]



©伍箇伝計画/刀使ノ巫女製作委員会 © 2018 SQUARE ENIX CO., LTD. All Rights Reserved.

■ 2018年4月

- ・ゲーム運営/カスタマーサポートを行う
(株)ウィットワンを始動（設立登記は2017年12月）
- ・『ヴァンガードZERO』
事前登録開始（ゲームスタジオ）[スマートフォン]
- ・『トリプルモンスターズ』
リリース（ゲームスタジオ）[スマートフォン]
- ・ゲーム事業の顧問として波多野信治氏が就任



■ 2018年6月

- ・『星のドラゴンクエスト』
(ゲームスタジオ) [スマートフォン]
1800万DL達成

■ 2018年7月

- ・『スターオーシャン：アナムネシス』 海外版リリース
(トライエース) [スマートフォン]



© SQUARE ENIX CO., LTD. Developed by tri-Ace Inc.

2.セグメント別業績

(1-6) ゲーム事業およびモバイル事業（最近の主なトピック）

■ 2018年8月

- ・ ChinaJoy 2018 のB2Bエリア（A271, W5）に出展
（エヌジェイホールディングスグループ）

■ 2018年9月

- ・ 東京ゲームショウのビジネスソリューションコーナーに出展
（ウィットワン、エヌジェイワン）

■ 2018年10月

- ・ (株)ISAOよりゲーム運営サポート事業を承継
（ウィットワン）
- ・ 『END OF ETERNITY 4K/HD EDITION（エンド オブ エタニティ）』
発売（トライエース）[PS4/STEAM]

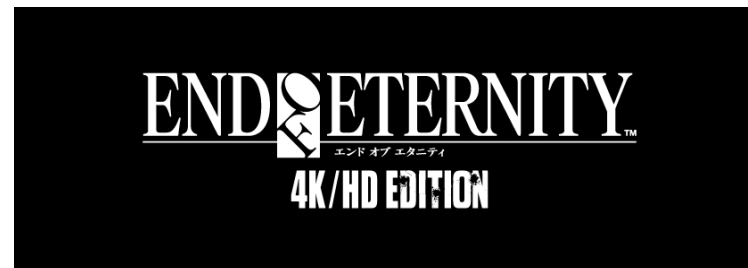
■ 2018年11月

- ・ 『MIST GEARS（ミストギア）』リリース（トライエース）

モバイル事業（ネプロクリエイト）

■ 2018年8月

- ・ ピポパーク武蔵小山店（東京）新規オープン



© SEGA/tri-Ace Inc.



© Alim Co.,Ltd / tri-Ace,Inc / 集英社



ピポパーク武蔵小山店

2.セグメント別業績

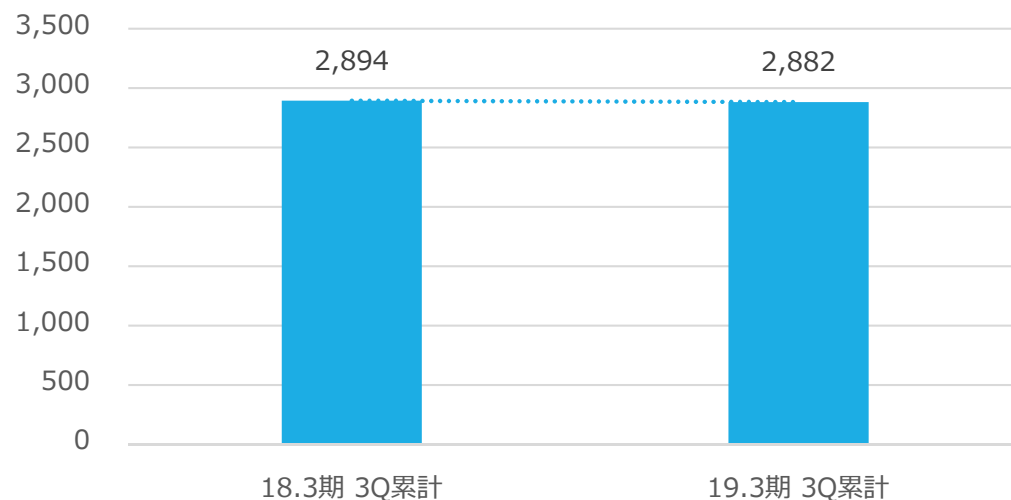
(2) モバイル事業 (概要)

モバイル事業

- auショップ部門は、スマホ進化の一服感や新型機種の高額化、行政の携帯料金に対する動向から、買い替えタイミングについての様子見が見られ、販売台数が減少
- 販売店部門は、MNPの獲得強化や格安スマホの取り扱い強化により販売が堅調に推移
- auショップ部門は、3G停波時期の発表に伴う切り替え需要の取り込み等により利益確保
販売店部門は、端末が高額化するなかで顧客獲得のための価格競争が激化

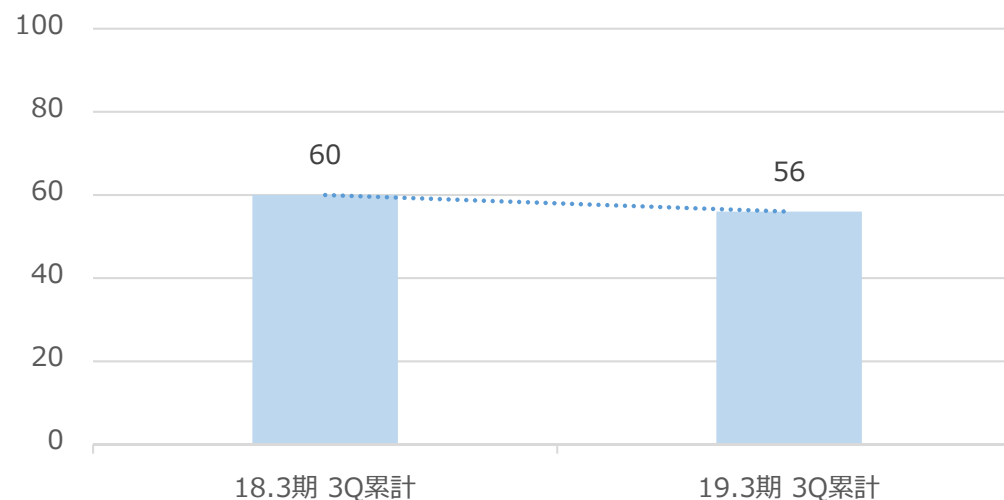
(単位：百万円)

モバイル事業 売上高



(単位：百万円)

モバイル事業 利益



Ⅲ.2019年3月期通期見通し

1.通期業績見通し

- 通期業績予想について、直近公表値から変更はありません。

(単位：百万円)

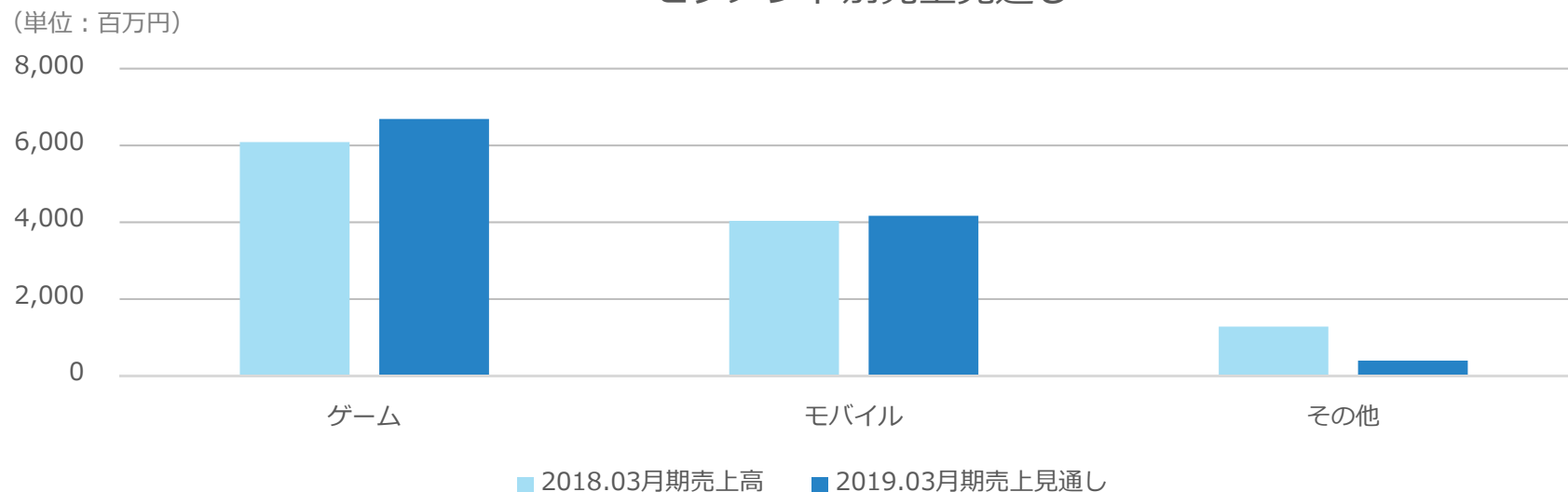
	2019年3月期 3Q累計実績	2019年3月期 通期業績予想	進捗率	(参考) 2018年3月期 通期
売上高	8,126	11,200	73%	11,328
営業利益	244	350	70%	664
経常利益	216	310	70%	667
親会社株主に帰属する 当期純利益	212	250	85%	519

- 通期業績見通しについて、ゲーム事業においては、当期において計画している開発受託案件及び運営受託案件は、概ね下期に見直した見通しに基づき進捗しておりますが、レベニユーシェア案件の状況によって、業績に振れが生じる可能性があります。モバイル事業においては、年末商戦頃から販売は前期並みに戻ってきており、年度末の繁忙期に向けて堅調に推移するものと見込んでおります。

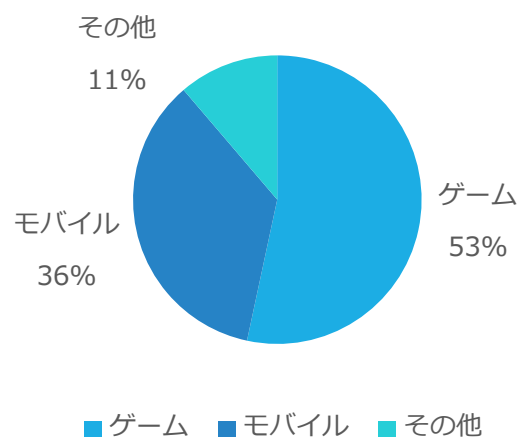
2.セグメント別業績見通し

(1) 売上見通し

セグメント別売上見通し

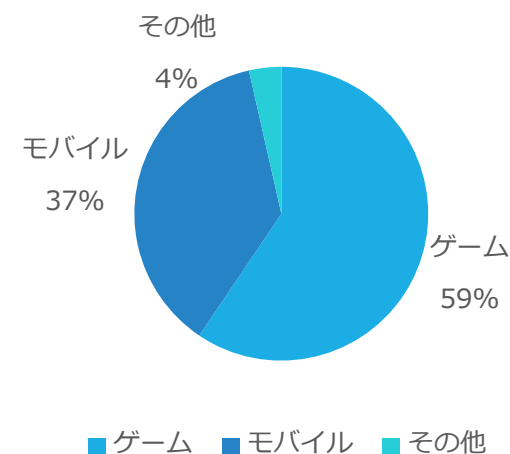


2018.03月期売上高



売上高セグメント別割合

2019.03月期売上見通し

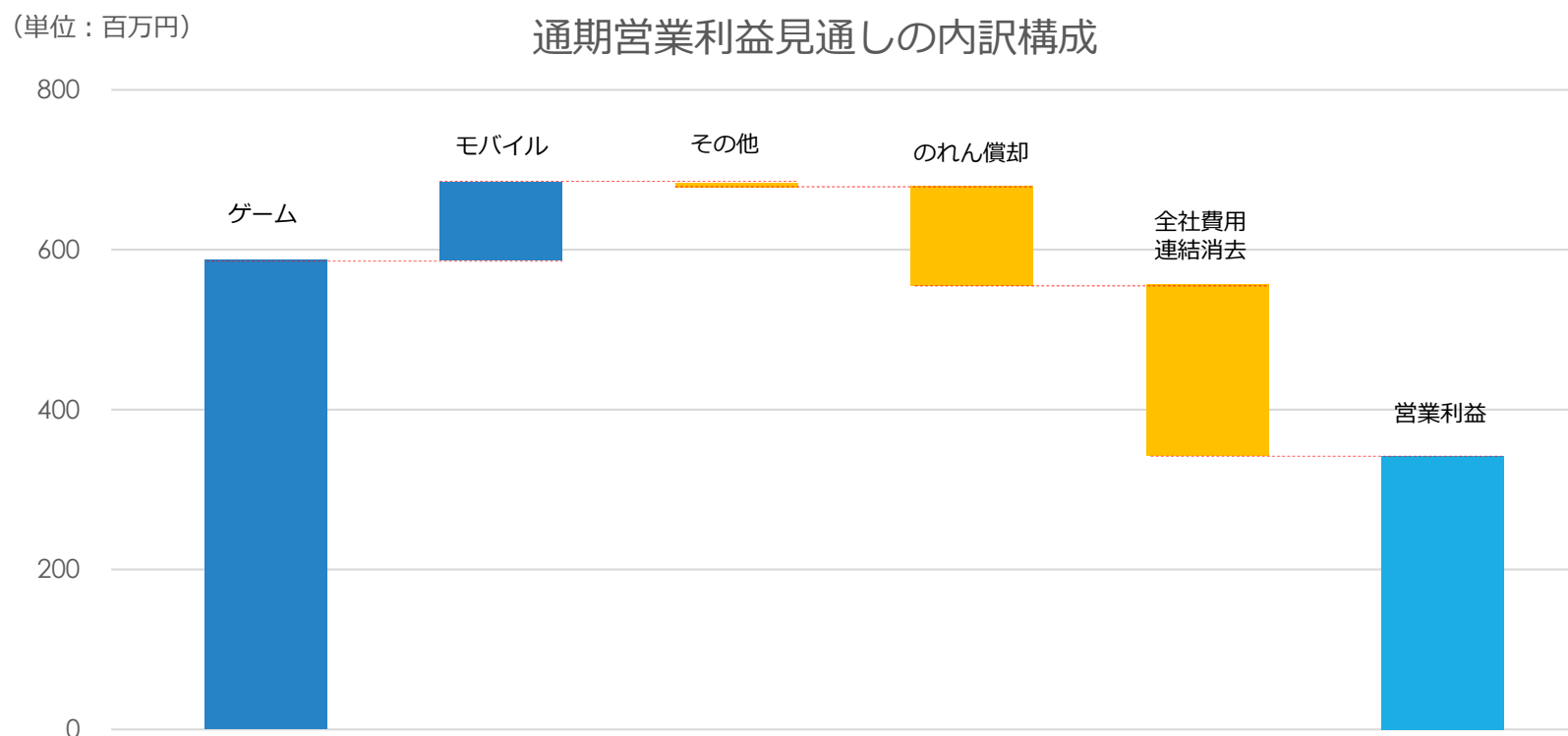


(注) 人材ソリューション事業はその他に含めております。

2.セグメント別業績見通し

(2) 営業利益見通し

通期営業利益見通しは、350百万円を予想しております。



※ 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。連結消去は、セグメント間の取引消去であります。人材ソリューション事業はその他に含めております。

(参考資料) 連結キャッシュフロー計算書

(単位：百万円)

	2018年3月期 第2四半期	2018年3月期 通期	2019年3月期 第2四半期
営業活動による キャッシュフロー	291	661	178
投資活動による キャッシュフロー	△145	△209	△364
財務活動による キャッシュフロー	57	529	998
現金及び現金同等物 の残高	1,300	2,081	2,906

FAQ

- 投資家等の方からよくいただくご質問については、当社IRページの「よくあるご質問」に回答を掲載しております。また、今後も適宜追加等をしてまいりますので、ご参照ください。
- 本資料含め、各種のIR資料は、当社IRページの「IRライブラリ」に掲載しております。

よくあるご質問

<https://www.njhd.jp/ir/faq/>

IRライブラリ

<https://www.njhd.jp/ir/library/>

お問合せ窓口

株式会社エヌジェイホールディングス
経営企画室

TEL : 03-5418-8128

FAX : 03-5418-8122

Email : ir@njhd.jp

URL : <https://www.njhd.jp>